

整理番号	29-16	事務事業名	森林整備対策事業		作成部署	経済部農政課	電話	内線851
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	池上俊廣	課長職名	鈴木康照	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H11	根拠法令等	北広島市森林整備事業補助金交付要綱					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	北広島市森林整備計画に基づき森林施業計画を作成している森林所有者に対して造林の実行を推進し地域林業の活性化を図る。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共存する快適なまち	(第2章)
	節	自然と緑と公園	(第1節)
	施策	自然・緑の保全と育成	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	森林所有者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	森林所有者に対して除間伐などの森林施業を支援し、自己負担の軽減により森林所有者の造林意欲の高揚を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	補助率=(経費-公共補助金)×1/2 実施済面積 29.04ha
		17年度	補助率=(経費-公共補助金)×1/2 実施面積 4.00ha

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金			22	25
	地方債				
	その他特財				
	一般財源			65	77
	合計	0	0	87	102
人件費(概算)	人数(年間)			0.02	0.02
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	0	0	180	180
総事業費 +		0	0	267	282

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	実施森林面積			4.00ha	4.00ha
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	保育等達成率 (全体128.72ha)	22.6%	22.6%	25.7%	28.8%
	保育等累計面積	29.04ha	29.04ha	33.04ha	37.04ha
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	面積当たり事業コスト			66,750円/ha	70,500円/ha

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	森林の有する多面的機能に対する期待が高まっている状況下で、多くの自治体が国・道の補助に上乗せ補助をしている。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	森林機能の保全のためには森林所有者に対する行政の積極的な関与が必要である。市が支出する補助金は北海道の補助の対象となっている。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	森林の整備が進まない中で森林施業者の負担軽減は必要である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現状では保水機能の維持や都市景観の形成に欠かせない。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		適切であるが、自己負担割合を検討中である。

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	森林施業者の負担が軽減されることで、森林整備が推進されている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	森林事業は森林組合を通して実施するためコストは一定である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	森林保全のため維持管理は大切であり、森林所有者の森づくりの意欲を高めるためにも継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	森林保全のため維持管理は大切であり、森林所有者の森づくりの意欲を高めるためにも事業を継続とするが、自己負担と補助の割合を検討する必要がある。